

東藤島こうみんかんだより

●人口 3,523人(男1,722 女1,801) ●世帯数 1,326戸(令和6年8月1日)
令和6年9月10日 福井市藤島町48-1-1 東藤島公民館 TEL54-0039 hfuji-k@mx1.fctv.ne.jp

地区敬老会に ご参加ください

- とき: 9月29日(日)
- ところ: 東藤島小学校

令和6年度の東藤島地区敬老会を、9月29日(日)午前10時より、東藤島小学校で開催します。

今年は、昭和4年12月31日以前に生まれられた75才以上の方々に、案内を発送しました。また、百寿(100歳)と米寿(88歳)を迎える方々には、お祝いの記念品をお贈りします。

該当される皆さん方は、今から十分体調を整えられ、元気なお姿でご参画いただけますようお待ちしております。なお、当日は、藤島高校ジャグリング部の演技と、天龍太鼓の太鼓演奏をお楽しみいただきます。

戦没者慰靈祭が 厳かに行われました

8月11日(日・祝) 東藤島忠魂碑広場横の藤島町自治会館において、奉賛会(自治会連合会)による東藤島地区戦没者慰靈祭が行われました。

地区内各寺院の住職様の読経の中、来賓をはじめご遺族の皆様・自治会長等が焼香し、戦没者に哀悼の意を表しました。



顔合わせ にっこりあいさつ 心は快晴 東藤島小児童作品

大会出場 おめでとうございます

(敬称略)

第25回ダイハツ全国小学生ABC大会

★バドミントン

東藤島小学校 秦 蒼仁(上中)

第45回北信越中学校総合競技大会

★ハンドボール

大東中学校 増田 恭大(橋合)

第45回北信越中学校総合競技大会

第53回全国中学校総合競技大会

第79回北信越卓球選手権兼全日本卓球選手権大会ブロック予選会

★卓球

大東中学校 杉本 來心(堂島)
杉本 心麗(堂島)

第53回全国中学校総合競技大会

★ソフトボール

大東中学校 内藤 啓一朗(間山)

第24回全日本中学生大会

★ソフトボール

大東中学校 坂下 ななみ(大和田)

令和6年度全国高等学校総合体育大会剣道大会

第71回全国高等学校剣道大会

★剣道

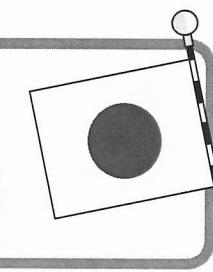
丸岡高校 藤田 元基(上中)

10月・11月の予定 ふるってご参加ください!

- 健康ウォーク大会 10月20日(日)
- 地区文化祭 10月27日(日)
- あずまフェスティバル 11月16日(土)

祝日には忘れずに
国旗を掲げよう!

9月16日(月)敬老の日
22日(土)秋分の日



公民館休館日

9月 9日(月)・15日(日)・16日(月)・17日(火)
22日(日)・23日(月)・30日(月)
10月7日(月)

学級通信「四季折々楽」～ミュージックケアで交流会～

8月22日の四季折々楽では、誰でもどこでもいつでも楽しめる「ミュージックケア(音楽療法)」を楽しみました。

この日は、さくらんぼ児童館の子どもたちや社会福祉法人足羽福祉会「カラフル」を利用されている方、地区の方約40名が参加しました。

音楽に合わせ、タオルやハンカチ、鳴子などを使って身体を動かしたりスイカのビーチボールを使ったゲームを楽しんだりし、締めくくりに「いっちょらい節」を踊りました。

「児童館では夏休み中はホールが使えず(暑さで)身体を動かすことができませんでした。今日は、久しぶりに身体を動かし、また、大好きな音楽に合わせてのストレッチやゲームを取り入れた内容を地域の方や足羽福祉会の方と子どもたちがひとつになり、満面の笑顔の花が咲きました。素敵な時間を

ありがとうございました」「色々な素材も使わせてもらい、勉強になりました。子どもたちや利用者さん、地域の方々の笑顔がとても印象的でした」[児童館先生]

「障がいを持っている人も元気に踊っていてすごいなと思いました」「おじいさんおばあさんと体を動かしたりして楽しかったです。また一緒に遊びたいです」「いろいろな事が学べて良かったです。特に踊りが多くて楽しかったです。また、みんなと楽しめる機会があったら参加したいです」[児童]

「子どもたちと一緒に時間を共有でき、元気をもらいました」[地区住民]

障がい者と健常者、子どもたちと高齢者が互いを思いやりながら、たくさんの気づきや学びのできた時間となりました。



学級通信 おがぶしきみ

アメリカザリガニ捕獲大作戦!

(小学生対象)

アメリカザリガニは、昭和初期に日本に持ち込まれた外来種です。東藤島地区のビオトープでも年々増え続け、ヤゴや水生植物が激減するといった、水辺の生態系への影響が出ています。

そこで、8月31日(土)に「アメリカザリガニ捕獲大作戦!」を開催し、親子23人が参加して、ビオトープに生息するアメリカザリガニを釣竿とたも網で捕まえました。

釣竿での捕獲は全部で16匹、たも網での捕獲では一番多く捕まえた人で113g、合計で552g捕獲することができました。また、ヤゴ(トンボの幼虫)やメダカ、マツモムシ、カワニナなども観察できました。



重点目標 あいさつ・国旗掲揚・環境美化



ぐらしの提言

駐在所だより

☆交通事故警戒情報

福井県内で死亡事故が多発しており、8月9日の時点で、本年発生の死亡事故件数は13件となりました。（前年比+5件）死者13名のうち、12名が高齢者でした。

ドライバーの皆さん、

一時停止 **止め**して運転を確認しよう。

一時停止の標識がある交差点では、思わぬ危険が潜んでいます。交差点の（停止線の）直前では必ず一時停止をし、停止した後に左右から来る車がいないか、道路を渡っている人がいないかなど安全を確認してから発進しましょう。

とくに、薄暮の時間帯は注意してください。

例年、日没前後1時間の薄暮時間帯に死亡事故が多く発生します。この時間帯は特に運転に集中し、早めに前照灯を点灯して事故を防ぎましょう。

防犯パトロール

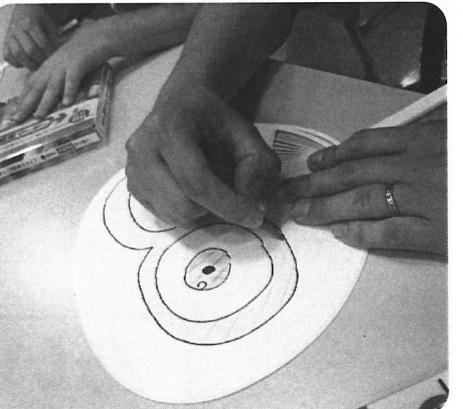
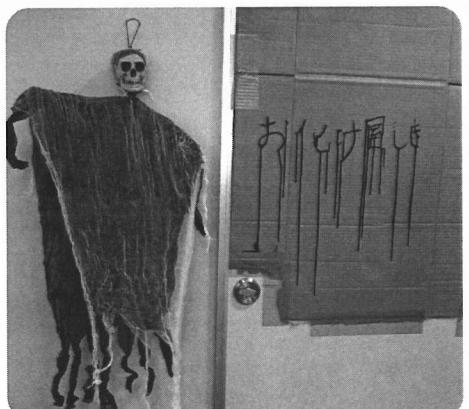
9月21日(土)午後7時～午後9時

福井警察署 ☎ 52-0110

「夏の親子レクレーション」を開催しました

東藤島地区青少年育成会が募集したリーダーズクラブ（5・6年生13名）企画の「夏の親子レクレーション」が8月24日に開催されました。「お化け屋敷」「うちわ作り」「フルーツ飴」「ビンゴゲーム」の活動を約40名の親子が楽しみました。

「お化け屋敷」は会場に迷路のようなルートを作り、フラッシュライトや大きな蜘蛛や人形を配置し、子どもたち自身もお化けに扮して雰囲気を盛り上げるなど本格的で、参加者の中には怖さに泣き



スポーツ協会だより

第75回市民スポーツ大会も終了し、いよいよスポーツ協会の主催事業が始まりました。

8月18日（日）には、第8回スティックリング大会を開催しました。7町内9チームの方々に参加していただき、盛り上がりのある大会となりました。

結果は以下の通りです。

【優勝】三和Aチーム

【準優勝】間山町

【第3位】三和Bチーム

おめでとうございます。

事業予定

9月29日（日）第63回壮年ソフトボール大会

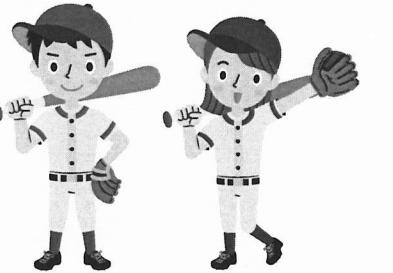
10月14日（月：スポーツの日）第26回ゴルフ大会

町内より2チーム以上の参加も可能です。

もちろん参加点も加算されます。

みなさんで、スポーツの秋を楽しみましょう。

たくさんのご参加をお待ちしています。



福井市東消防署

東分署からのお知らせ

その電話、救急ですか？

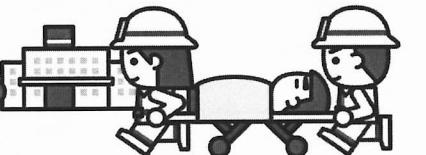
火事が発生した場合や救急車が必要な時は、早く通報することが大切です。

「病院で長く待つのが面倒だから」「どこの病院にいけばいいか分からない」などの理由で救急車を利用すると、本当に救急車を必要としている人に影響が出ます。

119番通報のうち約2割が緊急性のない病院照会、まちがい電話、災害に関する問い合わせなどです。

119番通報は火事や救急事故をいち早く通報するための番号ですので、災害場所の問い合わせ等はテレホンサービス（0776-25-9999）をご利用ください。

**大切な命を救うために
救急車の適正な利用をお願いします。**



【お問い合わせ先】
福井市東消防署 ☎ 27-0119
東分署 ☎ 57-0119

老人会主催 「公式ワナゲ大会」開催

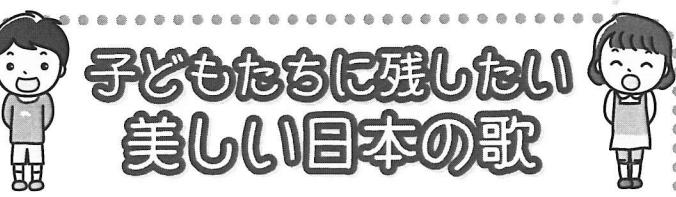
8月3日（土）東藤島小学校体育館を会場に、老人連合会主催の第11回公式ワナゲ大会が開催されました。9町内、12チームが参加し、ゲームを楽しみました。結果は、次の通りです。

【優勝】三和B 【準優勝】三和A

【第3位】北野上A 【第4位】上中B



移動図書館
「あじさい号」巡回日
10月2日(水) 11:00～11:20



ぞうさん

まど・みちお 作詞
だん い く ま 作曲
團 伊玖磨

- 1 ぞうさん ぞうさん
おはなが ながいのね
そうよ かあさんも ながいのよ
- 2 ぞうさん ぞうさん
だあれが すきなの
あのね かあさんが すきなのよ

子ゾウは「おはなが ながいのね」とからかわれても「そうよ」と胸をはりますが、それは、自分がゾウであることに誇りを持っているからです。つまり、この歌は自分とは何かという問題を幼児にわかりやすく説いているのです。作詞者のまど・みちお（明治42～平成26）はある音楽家から頼まれてこの詞を創りましたが、つけられた曲のできが良くありません。そこで、詩人で児童文学者の佐藤義美が原詩の「おはながながいね」に「の」を入れてNHKに持ち込みます、こうして完成した今の詞に曲がつけられると、昭和27年12月のラジオ番組「うたのおばさん」で放送されたり、翌年の6月にレコードが発売されたりして、子どもの愛唱歌になりました。

ところで「戦後まもなくのこと、作詞者が自分の息子を上野動物園に連れて行くと、ゾウは戦争中に殺されてゾウ舎は空っぽだったので、この童謡ができる」という話がありますが、これはデタラメです。しかし、作曲者の團伊玖磨（大正13～平成13）は、殺された動物の葬式を東京音楽学校の学生時代に目撃したり、上野動物園に新しく入ったゾウのインディラの前でこの歌を歌う子どもたちの指揮をとったりしています。

【エピソード】自分が子どもをもって一番うれしかったことは、歌を歌ってあげられること。『ぞうさん』と『まつぼっくり』の歌は、毎日、365日歌ってあげました。歌詞も本当にほほえましく、温かいところが大好きです。きっとこれからも歌い続けられることでしょう。（70代 女性）

参考資料：「親子で歌いつごう日本の歌百選」
文化庁編